

# 発達段階を考慮に入れた 特別活動等の工夫

学校名 **栃木県**  
**宇都宮市立緑が丘小学校**  
全校児童数583名  
(男子278名 女子305名)

実践内容

実施目的

- ①年間を通して運動に親しむ機会を多く設けるとともに、児童一人一人にできる喜びを感じさせられるよう、学年や能力の発達段階に応じた場の設定を行う。
- ②体育委員会を中心として、児童が楽しく、進んで外に出て活動できるようなスポーツ大会などの行事を設ける。
- ③教科体育の充実を図るために、実技研修や体育教員とのT・Tなどを行い、教員の指導力を高める努力をする。

実施内容

## 1 年間を通した運動機会の充実

### (1) 業間活用

- ①水曜日のみどりタイム（清掃なしのロング昼休み）、ふれあいタイム（木・金の始業前朝の活動）を縦割り班や学年ごとに活用し、楽しく体を動かす機会を設ける。
- ②校内持久走大会に向けて、約2週間業間休みを利用して全児童が校庭に出て持久走の練習を行う。音楽を流したり、走り方のアドバイスを言ったりして意欲を高める。
- ③12月の昼休み約2週間を利用して、なわ跳び教室を実施する。日ごとに種目を決め目的に応じて練習ができるように工夫する。

### (2) 放課後練習

市の水泳大会、陸上大会に向けて、高学年の希望者が放課後練習を行うが、大会に参加する児童だけでなく、全児童に参加を呼びかけ、能力に応じた個別指導を実施する。

## 2 体育委員会の活動の充実

### (1) クラス対抗ドッジボール大会

学年差に応じてハンディキャップ（投げ方・コート大きさなど）を付け、全学年が楽しく取り組めるようにする。

### (2) 長なわ記録会

低、中、高学年ごとにルールを変え、学年に応じた目標設定ができるようにする。クラスの実態を考慮し、あえて競わせる大会にせずに行う。

## 3 体育指導の充実

教員の体育指導力の向上が、子どもの運動好きの増加や体力向上につながると考え、体育実技研修会の実施、種目のアドバイスカードの配付、体育教員を含めたT・Tの実施などを行う。

実施上で工夫したこと

- ①「体を動かすことが好き。」という児童を増やすことをねらいとして、児童が意欲的に活動できるような機会や場の設定の工夫をした。
- ②できた喜びが次へのチャレンジの意欲につながると考え、個々の能力や発達段階に応じた指導・支援の工夫を行った。

主な成果

- ①クラスという集団で行うことが多いため、友達どうして声をかけ合ったり、協力し合ったりする姿もみられ、学級経営にも役立った。
- ②ドッジボール大会に向けてクラスで毎日練習を行うなど、全員が進んで外に出て運動するようになった。
- ③ルールや決まりを守ること、友達と協力することなど、道徳面でも効果があった。
- ④水泳教室には年々参加者が増えるようになった。

**元気っ子健康体力チェック**  
【体力関係】  
Q1)運動やスポーツをすることは好きですか。

		①好き		②やや好き		③やや嫌い		④嫌い		無回答
		人	%	人	%	人	%	人	%	
男 子	1年生	29	78%	8	18%	2	5%	1	3%	
	2年生	39	76%	14	28%	1	2%	2	4%	
	3年生	38	67%	12	27%	6	11%	1	2%	
	4年生	31	72%	8	19%	2	5%	2	5%	
	5年生	33	77%	7	16%	3	7%			
	6年生	29	71%	8	20%	3	7%	1	2%	
	全体	199	72%	65	20%	17	6%	7	3%	
女 子	1年生	23	72%	8	25%	1	3%			
	2年生	27	61%	12	27%	5	11%			
	3年生	34	69%	16	28%	6	10%	2	3%	
	4年生	27	61%	11	25%	6	14%			
	5年生	31	64%	17	30%	7	12%	2	4%	
	6年生	29	42%	34	49%	6	9%			
	全体	171	68%	98	32%	31	10%	4	1%	

構成比グラフ  
(無回答の人数は除く)

アンケート集計表

意識調査

全児童新体力テストで能力・意識調査を行う



ボール運びリレー  
みどりタイムを活用しての縦割り班遊び



ドッジボール大会  
体育委員会が企画したドッジボール大会



水泳教室  
レベル別に分けて個々に応じた指導を行う



校内持久走大会  
大会に向けて毎日業間を利用して練習を行う